

日本看護協会は、 国民の医療ニーズに積極的に対応するために、 看護の更なる専門性の発揮につながる 特定行為研修制度の活用を推進しています

特定行為研修制度は、

- ①診療の補助のうち、看護師が手順書で行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの（特定行為）を明確化し、
- ②手順書により特定行為を行う看護師への研修を義務化した制度です。

よりよい医療・看護の提供のために、

この制度をどのように活用できるか考えてみませんか。



多田朋子さん
300床の病院勤務

医学的知識や特定行為を必要とときに活用し、スピーディに対応することで、疾病の重症化を防いでいます。自分らしく安心して生活できるように、必要な看護の視点を併せ持ち、疾病管理を行うことで、患者のQOLの向上に努めています。

「治療」と「生活」の
両面から患者へアプローチ

大学院で特定行為研修を
修了した看護師

患者の状態に合わせた
タイムリーな対応が可能

丁寧に状態を観察しながら看護をしていれば、多くの医行為は実施せずに済みます。その判断ができるようになりました。患者の傷と生活を誰よりも理解し、一連の創傷管理を担っています。



松岡美木さん
皮膚・排泄ケア認定看護師

大学院で医学的な知識や思考過程・判断力を獲得したことで、身体状況を的確に把握し、医療の必要性や緊急性を判断できるようになりました。訪問看護師がこれらの力をつけることで、在宅で療養する人に根拠を持って説明し、意思決定を支え、必要な医療を必要な時に提供することができると実感しています。



光根美保さん
訪問看護ステーション勤務

認定看護師を対象とした
特定行為研修を修了



森下幸子さん
感染管理認定看護師

院内の感染管理だけでなく、術後患者や法人内の介護施設で感染症の治療に介入できるようになり、感染管理認定看護師としての活動が広がりました。自施設の現状や課題を分析した上で、研修終了後に担う役割や活動を組織や看護管理者と共有した上で受講することが重要です。

看護師には看護としてのアウトカムを出す責任があり、この制度はそのために活用できると思います。病態を理解するとともに、患者の背景や退院後の生活を踏まえ、タイムリーに特定行為を実施することで、よりスムーズな治療を支援することができるようになりました。



山崎早苗さん
救急看護認定看護師

本制度を活用し、より良い医療・看護を提供するために必要なこと

目的の明確化

■ 自施設における課題やニーズを解決するために、本制度がどのように活用できるかを検討

－活用事例①－

大学院で学び、新たな役割を担う看護師の活動により、自施設の課題やニーズに対応

－活用事例②－

認定看護師として今担っている役割を広げること、自施設の課題やニーズに対応

役割の明確化

大学院で修得した医学的な判断力と看護の視点を併せ持った看護師として新たな役割を担う

自身の専門領域において認定看護師としての役割をさらに発展

必要な教育の選択

特定行為研修を活用した大学院教育

認定看護師を対象とした特定行為研修

役割発揮のための体制整備

■ 役割を最大限発揮するには手順書のあり方が重要！

- 手順書は、チェックリストやマニュアルではなく、医師の指示の1つの形態です。
- 研修修了看護師が、身に付けた医学的なアセスメント力や判断力により、患者の状態を判断し、最大限役割を発揮できるような手順書を医師と連携し、作成しましょう。

■ 看護管理者の役割が重要！（詳細は、4ページを参照。）

成果(例)

■ 訪問看護において⇒患者の希望に沿う在宅療養の継続

- 医学的視点を含めたより深いアセスメントが可能となり、重症化、重度化を予防
- 異常の早期発見・早期介入により、緊急搬送が減少、外来受診回数の減少による患者負担の軽減

■ 介護施設において⇒利用者の希望に沿う生活の実現

- きめ細かい利用者の病状の把握・管理により、緊急搬送・入院件数が減少
- 生活や社会的背景を考慮した治療の提案・実施による利用者・家族の負担の軽減

■ 外来において⇒患者の生活に合わせた治療による病状の改善

- 生活習慣病患者の生活や社会的背景を考慮した治療の提案・実施による病状の改善
- 治療及び生活指導が一度に可能となり、外来待ち時間の減少

制度を活用した看護師の活動

介護老人保健施設 鶴見の太陽 廣瀬福美さん



私は、病院勤務を経験した後、平成19年に大分県佐伯市にある介護老人保健施設鶴見の太陽に、副施設長として就職しました。施設には、医学的管理が必要な多病・多剤の高齢者が殆どで、それぞれの症状や訴えに対して、どのようなアセスメントをしたらよいのか、悩むことが多く、自分の知識不足を痛感し、入所者の健康状態を適切に判断する症状マネジメントが実施できるようになることを目的に、平成20年、大分県立看護科学大学大学院 NP コース（老年）に入学しました。

大学院では、ご本人及びその家族の希望や背景をふまえたトータルの看護実践や、看護管理能力、チームワーク・協働能力など看護師に必要な能力についてさらに学びを深めるとともに、医師の指導の下、臨床病態生理学やフィジカルアセスメント、臨床薬理学及び臨床推論や、適切な判断と確実な技術を要する特定行為などについて学ぶことが出来ました。現在は同施設で、医師と協働し入所者の健康管理や急変時の初期対応等を担当しています。介護施設は病院と違い、看護師の人数も少なく、医師も通常1人体制です。特定行為を実施する場面は多くありませんが、大学院での学びを活かし、入所者1人ひとりの病態をより深くアセスメントすることで、病状悪化防止や異常の早期発見が可能となり、病院への緊急入院の件数が減少しています。また、最近では、施設での看取りを希望される方も多くなっています。入所者及びその家族が希望する安らかな最期の実現の為、チーム医療のリーダー役として活動しています。



特定行為に係る看護師の研修制度とは…

平成26年6月に保健師助産師看護師法が改正され、平成27年10月より特定行為に係る看護師の研修制度が開始されました。

この制度は、特定行為研修¹⁾を受けた看護師が、手順書²⁾による医師の指示に基づき、患者の状態等を判断し、必要があれば特定行為³⁾の実施が可能となる制度です。

- 1) 特定行為研修…厚生労働大臣が指定する指定研修機関において、1または2以上の特定行為区分ごとに実施。
(指定研修機関例：大学院、大学、病院、日本看護協会、病院団体等)
- 2) 手 順 書…医師の指示であり、法令で定められた記載事項を含む文書のこと。
- 3) 特 定 行 為…診療の補助のうち、看護師が手順書で行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの。

看護管理者の方へ

■よりよい医療・看護の提供に向け、制度を上手に活用するために

1. 自施設における制度の活用について検討しましょう。
 - 本制度を活用する意義やニーズ、研修修了看護師に期待する役割があるか
 - 本制度を活用することで解決可能な医療・看護の課題があるか
2. 制度を活用した看護師の役割発揮に向けた準備をしましょう。
 - 研修派遣の前に…
 - ・ 求められる役割や活動について、研修受講者とだけでなく施設全体で共通認識を構築
 - ・ 求められる役割や活動をふまえ、研修機関を選定
 - 研修修了後…
 - ・ 業務実施体制・安全管理体制の整備、定期的な評価・見直し
 - ・ 役割発揮のための支援体制の構築
 - ・ 研修修了看護師の担う役割の評価・見直し

■自施設における診療の補助行為の実施状況を確認しましょう

患者と実施する看護師の安全性の観点から、難易度が高い診療の補助行為（特定行為を含む）について、自施設での実施状況を把握し、課題を明らかにしましょう。

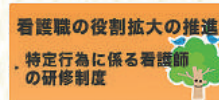
日本看護協会の見解

看護師が難易度の高い診療の補助行為を実施するかどうかについては、安全性を考慮した慎重な検討が必要です。日本看護協会は、難易度の高い診療の補助行為について、**体系的な研修の受講及び体制整備により、安全性が担保できる場合に限り**、看護師の実施が可能だと考えます。

特定行為の実施については、安全性の観点から特定行為研修の受講が必要だと考えます。

日本看護協会ホームページにて、最新情報更新中

- 制度の詳細や本会の見解などを掲載
- 看護管理者の役割や特定行為研修制度の活用事例も紹介
- よくある質問への回答も随時更新
- 日本看護協会公式HPのトップページ下部のこのアイコンをクリック！



<http://www.nurse.or.jp/nursing/tokutei/>

